愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	中国の文化と社会		
担当者(Instructors)	山本 恭子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

国際社会の中で存在感を強めている中国については、メディアなどを通しさまざまな情報に接する機会が増えている。それらの情報はビジネスにおいても欠くことのできない相手国となっている中国について知る手掛かりにはなる。しかし、そうした情報からだけでは、中国に暮らす人々が、長い歴史の中で大切にしてきた伝統文化やいとなみについて知り、理解することは難しい。本授業では、中国や台湾の歴史、現代中国社会、言語や風俗習慣など人々の生活に根づいた文化や、海外に広がる華人社会について知ることにより、中国、および中国に暮らす人々について理解を深め、国際的視野を養うことを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	授業では毎回１つのテーマを設定して講義する。毎回、プリントを配布し、パワーポイントを提示して説明する。内容の理解を深めるために画像や映像、資料を提示する。毎回、授業の終わりにその日の振り返りを行い、授業に対するコメント、質問等の提出を受け、翌週、そのフィードバックを行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	各回の授業内容、目的、進め方、受講時の注意点について説明する。	□
第2回	中国の国土－気候風土による地域差	広大な国土を持つ中国の地理、気候について知る。さらに異なる気候風土が、それぞれの地域における文化の形成に影響していることを各地の食文化などを通して学ぶ。	□
第3回	古代王朝から現代中国まで	中国の歴史の中で繰り返されてきた王朝の交替、各王朝について地図、画像、映像などを見ながら概観する。そこから現代中国に至る大きな歴史の流れを感じとる。	□
第4回	台湾・香港・マカオと中国	中国本土と台湾、香港、マカオとの関係について歴史を振り返るとともに、近年、大きく変化したそれぞれの現状について理解する。	□
第5回	現代中国の経済政策と社会	中華人民共和国成立以後、進められてきた経済政策を知り、社会の変化について学ぶ。	□
第6回	現代中国の都市と農村	現代中国における都市と農村について、それぞれの社会構造を知り、現代中国社会が抱える問題について知る。	□
第7回	中国に暮らす人々	多民族国家である中国に暮らす漢民族と55の少数民族について知る。少数民族について居住地域、言語、風俗習慣などについて学ぶ。	□
第8回	中国の世界遺産	世界遺産登録をされている中国各地の文化遺産、自然遺産、複合遺産を知る。世界遺産の保護と観光資源としての活用、登録された世界遺産が抱える問題について学ぶ。	□
第9回	中国の言語	中国で使用される言語「中国語」について知る。中国では「標準語」と、各地で使用される数多くの「方言」が存在することを学ぶ。	□
第10回	中国の宗教、中国の神々	仏教、道教、民間信仰など中国における宗教、信仰について学ぶ。人々の生活に密着した信仰について知り、日本ではあまりなじみがないが、中国で広く信仰される神や仏について知る。	□
第11回	中国の伝統文化1－婚礼	人生の中の一大事とされる「婚礼」について、古代から伝統的に行われてきた婚礼儀礼、および現代中国における婚礼について知る。	□
第12回	中国の伝統文化2－葬礼	人が亡くなった時に行われる「葬礼」について、古代から現代まで行われてきた伝統的な葬礼儀礼、および現代中国における葬礼について知り、その変化について学ぶ。	□
第13回	中国の伝統文化3－年中行事	現代中国における祝日について、また、公的な祝日とは別に人々から大切にされてきた伝統的な年中行事について知る。中国の年中行事とともに、日本における同様の行事についても概観し、その異同について学ぶ。	□

第14回	移動する中国人1ー国内移動、海外への移動	歴史的に中国国内での移動や、海外進出をしてきた中国人の動きについて学ぶ。世界各地にチャイナタウンを形成し、発展させていったことを知る。	□
第15回	移動する中国人2－現代の移動、日本におけるチャイナタウン ・授業のまとめ	現代における移動の様相を学ぶ。華人、華僑によって築かれた日本におけるチャイナタウンについて知る。授業を振り返り、まとめをする。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として、次回の授業テーマについて、自分の持つ知識を整理し、疑問点などを挙げ、2時間程度調べて授業に臨むこと。授業後は事前に調べた内容と授業内容を照らし合わせ、配布したプリントを参照して、レポート作成を念頭に2時間程度のまとめを行う。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回、授業開始時に前回授業の振り返りを行う。前回の授業内容の整理をし、提出された質問、コメントに対する解説を行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2021国際ビジネスDP2	

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
		60%		40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回、授業の最後に課す振り返りや、コメントの提出、および授業参加度により評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		